

2月 27日-3月 5日

## 歴代第一 20-22章

133番の歌と祈り

開会の言葉（1分）

神の言葉の宝

「クリスチャンとして成長できるよう若い人を助ける」（10分）滝 秀貞

宝石を探し出す（10分）長谷川 瑛一

代一 21:15 さらに、真の神はエルサレムを滅ぼすために天使を遣わした。しかし、天使が滅ぼそうとすると、エホバはそれを見て災いのことを嘆き(\*悔やみ)，滅びをもたらす天使にこう言った。「もう十分だ！さあ、手を下ろしなさい」。エホバの天使は、エブス人オルナンの脱穀場のそばに立っていた。

この聖句からエホバについてどんなことを学べるか。

(塔 05 10/11 ページ 6節) 21:13-15。エホバが、災厄を終わらせるよう命じたのは、ご自分の民の苦しみに敏感な方であるからです。確かに、「その憐れみは非常に多い」のです。\*ダビデの不法な人口調査に関連した他の教訓については、「ものの塔」誌、2005年5月15日号、16-19ページ参照

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

ダビデの不当な人口調査による不信仰という罪がダビデをかたくなにならせた可能性があるとはいえ、ダビデがサタンの影響や自分のその邪悪な傾向を冷静に判断できて、(21:3) ヨアブの助言を受け入れていたら多くの人命を失わずに済んだはず。私たちも個人研究、集会、宣教などの良い習慣を保ち、長老や仲間からの助言に耳を傾ける大切さを学べる。それで必要な場合は互いに注意喚起が出来るよう日頃から仲間と交わり、特に野外で共に働く機会を大切にしていきたい。

聖書朗読（4分）代一 20:1-8（教励 第10課）松橋 信弥

野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分）話し合いのサンプルの話題に沿って話す。よくある反対意見に対応する。（教励 第1課）平山 優子 1 竹林 亜矢子

再訪問（4分）話し合いのサンプルの話題に沿って話す。集会の招待状を渡す。「王国会館においでください」の動画を紹介し、話し合う。（再生はしない）（教励 第19課）  
田中 弘子 19 田中 麻美子

話（5分）塔研 16.03 10-11 ページ 10-15 節 主題：若い人がバプテスマに向けて進歩するためにできること。（教励 第16課）長谷川 貴史 16

# クリスチャンとして生活する

## 134 番の歌

「聖書の原則を当てはめて、エホバに仕える道を選ぶよう子供を助ける」（10分）討議。動画を視聴する。大谷 正

会衆の必要（5分）浮田 蒼

会衆の聖書研究（30分）暮 レッスン38 副見出し5、まとめ、復習、次のステップ 星 延宏

閉会の言葉（3分）

## 5番の歌と祈り

（代一 20:1-22:19） 年の初め\*、王たちが戦いに出掛ける頃、ヨアブが軍隊を率いて、アンモン人の土地を荒廃させた。ヨアブはラバに行って、そこを包囲した。一方、ダビデはエルサレムにとどまっていた。ヨアブはラバを攻撃して、破壊した。2ダビデはマルカムの頭から冠を取った。それは34キロの金でできた冠で、宝石で飾られており、ダビデの頭に置かれた。ダビデは都市から非常に多くの物を奪った。3また、都市にいた民を連れ出して、石切りや、鉄の刃物やおのを使う仕事を行わせた。アンモン人の全ての町に対してそのようにした。やがてダビデと兵士たち皆はエルサレムに帰った。4その後、ゲゼルでフィリストニア人との戦いが起き、フシャ人シベカイがレファイム人の子孫シパイを討った。こうしてフィリストニア人は制圧された。5またもフィリストニア人との戦いがあり、ヤイルの子エルハナンがガトの人ゴリアテの兄弟ラフミを討った。ラフミのやりの柄は、機織りが使う巻き棒のように太かった。6ガトでまたしても戦いが起きた。そこには、手と足にそれぞれ指が6本あり、合わせて24本の指がある巨人がいた。その人もレファイム人の子孫だった。7彼はイスラエルをあざけっていたので、ダビデの兄弟シムアの子ヨナタンが彼を討った。8以上はガトのレファイム人の子孫で、ダビデと家来たちの手によって倒された。

21さて、サタン\*がイスラエルに対して立ち上がり、イスラエルを数えるようダビデを駆り立てた。2ダビデはヨアブと民の長たちに言った。「ベエル・シェバからダンまでイスラエル人を数えに行きなさい。そして私に報告して人数を知らせなさい」。3ヨアブは言った。「エホバが民を百倍に増やしてくださいますように！ご主人さま、王よ、彼らは皆すでにあなたの家来ではありませんか。どうしてそのようなことをなさるのですか。イスラエルに罪を負わせるようなことをどうしてなさるのでしょうか」。4しかし王はヨアブを説き伏せた。それでヨアブは出ていってイスラエル中を回り、その後、エルサレムに帰ってきた。5ヨアブは登録した民の数をダビデに伝えた。イスラエルは剣を帶びた人が110万人、ユダは剣を帶びた人が47万人だった。6しかし、ヨアブはレビ族とベニヤミン族を登録しなかった。王が言ったことがヨアブにとって忌まわしいものだったからである。7さて、行われたことは、真の神にとって非常に不快だった。それで神はイスラエルを打った。8ダビデは真の神に言った。「こんなことをして、私は大きな罪を犯



ダビデが、神殿建設のために手配した職人たちや資材をソロモンに見せている。

神の言葉の宝

## クリスチャンとして成長できるよう若い人を助ける

ダビデは、ソロモンがエホバの助けによって神殿建設を成功させることを確信していた。 (代一 22:5。塔研 17.01 29 ページ 8 節)

ダビデは、エホバに頼って行動するようソロモンを励ました。 (代一 22:11-13)

ダビデはソロモンを支援するためにできることを全て行った。 (代一 22:14-16。塔研 17.01 29 ページ 7 節。表紙の絵を参照。)



考えてみよう：「会衆の若い人がクリスチャンとして成長し、エホバに喜んで仕えることができるよう、私はどのように助けになれるだろうか」。 (塔研 18.03 11 ページ 14-15 節)



クリスチャンとして生活する

## 聖書の原則を当てはめて、エホバに仕える道を選ぶよう子供を助ける

クリスチャンの親は子供に、エホバに仕える生き方を楽しんでもほしいと思っています。親が教える際に聖書の原則を当てはめるなら、子供を上手に助けることができます。 (格 22:6 少年(\*子供/若者)を彼の行くべき道に沿って育てよ。彼は年を取っても、それから離れない)

子供と率直に話し合える関係を普段から築いておく。 (ヤコ 1:19 私の愛する兄弟たち、覚えておいてください。皆が、人の言うことに進んで耳を傾けるべきです。すぐに話したり、すぐに怒ったりしてはなりません)

良い手本によって教える。 (申 6:6 私が今日命じるこれらの言葉があなたの心に入っていなければなりません)

定期的にクリスチャンの活動に参加する。 (エフェ 6:4 父親は、子供をいら立たせないようにし、エホバ\*が望む指導と助言(\*エホバの考えを入れること)によって育ててください)

「耐久性のある家を築くために子どもを『その行くべき道』に従って訓練する」の動画を見て、次の質問に答えましょう。

1. 親は道理にかなっていることをどのように示せますか。

子供の言うことに耳を傾け、聖書の原則を越えない範囲で、ソーシャルメディアなどを用いることも許可

2. 親はヤコブ 1 章 19 節の原則をどのように当てはめられますか。

まず子供の言葉に耳を傾けるべきで、怒りを爆発させではなく、親が間違いをした時には謝る

3. 問題が生じた時、親には何ができますか。

子供たちとの意志の疎通を保ち、家族研究などを活用して、良く準備し、辛抱強くその危険を理解できるよう助ける

## (インタビューの内容)

①組織からのアドバイスに反して、私たちはソーシャルメディアの使用を一切禁止した。もちろんそれは失敗。子供とぶつかってしまった。もっと理解を示すべきだった。

②夫はエホバの証人ではないので、私にとって子育ては本当に大変。長男が女の子と付き合い始めてから、難しくなった。それを知つて怒りを爆発させてしまった。いつも教えてきたことだからです。突然彼は変わってしまった。

③私たちは戦争の為に逃げることに決めた。それで難民キャンプに来た。私たちが抱えた問題は、息子が証人ではない近所の若者たちの悪い行いをまね始めたこと。息子には多くの助けが必要だった。

①兄弟たちからの助言を受け入れて本当に良かった。例えば子供に対して道理にかなつた態度を取ること、子供の見方を理解しようと努めること、子供がエホバに近づくよう助けること。すべきことを言うだけで、彼らの言うことに耳を貸さないなら、何にもならない。それで、聖書の原則を越えない範囲で、ソーシャルメディアを用いることを許可した。もちろん反応は良かった。

②ヤコブ 1:19 がとても助けになった。そこには聞くことに早く、語ることと憤ることに遅くあるようにと書かれている。私はまず息子の言葉に耳を傾けるべきだった。自分を落ち着かせ、怒りを爆発させてはいけなかった。親が間違いをした時に謝るのは良いこと。子供たちが自分の間違いを認めるための助けとなるから。息子との距離は縮まり随分話しやすくなつた。

③難民キャンプでは、すべきことが多くあるが、家族研究の時間を必ず取分けた。戦争から逃げる時に古い書籍や雑誌を持って来た。その古い出版物を家族研究で用いた。妻と私がいつも行つてていることは、問題について夫婦で一緒に考えて、子供を教えるために準備すること。私たちが抱えた問題は、息子が証人ではない近所の若者たちの悪い行いをまね始めたこと。息子には多くの助けが必要だった。このことについて黙想した結果、ただ罰を与えるのではなく、辛抱強くその危険を説明する必要のあることが分かった。

^ (格 22:6) 少年(\*子供/若者)を彼の行くべき道に沿つて育てよ。彼は年を取つても、それから離れない。

または、「子供」、「若者」。

^ (ヤコ 1:19) 私の愛する兄弟たち、覚えておいてください。皆が、人の言うことに進んで耳を傾けるべきです。すぐに話したり、すぐに怒ったりしてはなりません。